

保育かながわ

発行所
横浜市神奈川区沢渡
4の2
神奈川県保育会
発行人
鈴木 萬 吏
題字
故 内山岩太郎 筆



保育事業の一層の推進を

神奈川県福祉部児童福祉課長 中村 忠雄

安定を図ることをはじめとして、乳児保育の普及に対応し、きめ細かい内容を示したことが主たるものであり、豊かな人間性を育むための保育の環境づくりに視点が置かれています。

いずれにせよ、最近の子どもをめぐる状況や一連の動きに、地域における保育所の役割や機能があるため問われ、状況に応じた変化と対応が求められているとも言えるのではないのでしょうか。

本県の保育対策につきましては、皆様のご協力を得て、多様化する保育ニーズに応えるため、乳児保育、延長保育、障害児保育などの特別保育事業の推進に努めているところであり、また保育所のもつ専門的機能を活かしての育児相談・育児情報提供・地域交流・一時保育等の保育サービスを行う「地域育児センター」の設置についても力を注いでいるところであります。

今後とも、特別保育事業とあわせ、センターの内容の充実と強化に努めていきたいと考えています。

皆様もご承知のとおり、昨今の女性の社会参加の増加や、核家族化、少子化現象の進行など社会状況の著しい変化に伴い、子ども達が健やかに育つための環境づくりが真剣に問われています。

平成二年三月に発表されました「厚生白書」におきましても、そのメインテーマは「長寿社会における子ども・家庭・地域」とされており、生活の基盤である家庭、地域、そして子どもが前面に打ち出され、その関係が問いかけてられています。

さらに、子どもを取り巻く環境の変化に対応するため二十五年ぶりに保育所保育指針も改定され、この四月から実施に移されたところでもあります。今回の改定では、子どもの生命の保持、情緒の

今年度は、第二次新神奈川計画の四年目に当たりますが、計画の順調な進捗状況から、本年を実質的な仕上げの年として、引き続き五か年の実施計画の改定作業を一年前倒しのかたちで進めているところです。なかでも、保育対策については、「子育て家庭への支援強化」を新たな施策の柱として位置づけながら、その一層の促進と充実を図っていくことになろうかと存じます。

二十一世紀を担う子ども達が、健やかに心豊かに育つよう、県といたしましても、児童福祉のさらなる充実に向けていく考えでありますので、皆様の従前に増してお力添えをお願いいたします。

第24回 神奈川県保育事業大会 於 神奈川県社会福祉会館

大会が例年のように県保母会と共催、神奈川県と社会福祉協議会、神奈川県民間保育園協会のご後援により、去る五月十九日に行われました。大会はまず県福祉部長をはじめ来賓の方々のご臨席を戴き式典からはじまりました。会長の挨拶、一五三名にのぼる永年勤続者の表彰、来賓祝辞とつゞきました。

次いで保育会と保母会がそれぞれ総会を開催し平成元年度の事業報告と決算、平成二年度の事業計画案と予算案を審議しました。そしていづれも満場一致で承認されました。保育会では組織改正して二期目、この部制も軌道に乗って順調だと好評でした。午後から改装した会館の研修室にて、第二部の研究討議に入りました。

大会の主題

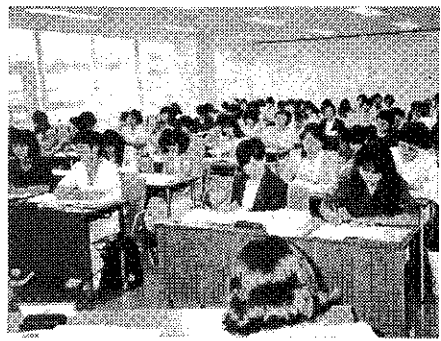
子どもたちの現在と未来を育むために
—— 保育所が創造する

地域社会の子育て——
保育所保育指針の改訂にあたりわれわれ保育関係者は「思いやり」と「感性」を育てる保育を目指すことを確認し、その根底に流れる保育所保育の独自性、すなわち保育所の「養護」と「教育」の一体化をどう実現していくべきかにつ



いて、再度見直す時期を迎えた。保育所は従来の機能に加えて乳幼児をかかえる地域全体の家庭のための援助サービス機能も備えた施設へと機能拡大を求められている。厚生省が示す「地域保育センター」事業はその大きな足がかりであり、そこで保育所は地域社会の子育てを創造する推進体の中核として期待を寄せられている。いわば地域の子どもたちの「現在」も「未来」も保育所の活動如何にかかっていると見えよう。そこで従来、園で進めてきた乳幼児保育

活動や子育て援助活動をより幅広くより確実に進めるため又健全に育むため一堂に会し、我々の果すべき役割とその機能を学び合うため会場は一段と熱の入ったものだった。そんな中で第一会場「地域福祉と保育所のあり方」、第二会場「保育所における家庭、子育て援助体制」、第三会場「子どもと食生活」、とそれぞれ熱心な研究発表がありました。フロアからもあついほどにディスカッションが続き、助言者の先生からも爽やかな助言をいただき大盛会のうちに終りました。



第31回関東ブロック保育研究大会

いま子ども、家庭、地域社会とともに！

茨城県水戸市で開催

平成二年

七月四日(水)

五日(木)、六

日(金)、に茨

城県水戸市

の県民文化

センターに

於いて、開

催され、オ

ープニング

セレモニー

での「野ば

ら会」によ

るなつかし

い「日本の

うた」のハ

ーモニーが、

遠方より集

ってきた参

加者をなご

ませてくれ

疲れをいや

すひととき

となりまし

新しい指針を自分のものとして

基調講演

日本社会事業大学教授・石井哲

夫氏は「保育指針による保育改革

を考える」という、いま保育者に

最も関心の高いテーマで、社会福

祉施設としての保育所を明確にし、

子どもの養護を前面に打ち出すと

共に、個々の子ども達の個人差を

認め、家庭と地域と保育所とで育

つ子ども達の発達を保障する中核

となってほしいと訴えられました。

フロアが一体となつての

討議が展開

保育会からは第一分科会に座間

の磯野タズ子先生、第五分科会に

厚木の藤田勝義先生、第十二分科

会に三浦市の生野多恵子先生と箱

根町の工藤純子先生がそれぞれ研

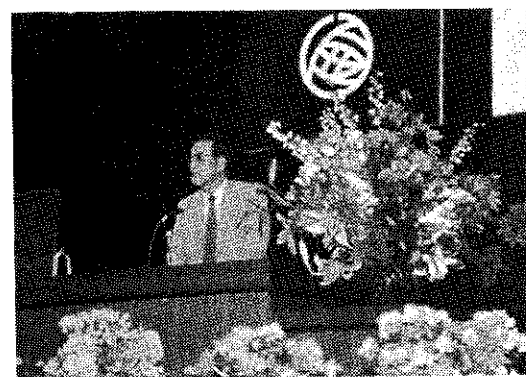
究発表され、今回の研究討議に有

意議な一石を投じて下さいました。

又草山充先生が第十二分科会の議

長を担当するなど、役員として活

躍されました。



ユーモアあふれる話術で

聴衆を魅了

今大会の最後を飾り、現在国語学者の第一人者であり、又アナウンサーの養成講師を長年勤め、邦楽を学び、童謡の普及に貢献されるなど巾の広い教養人である金田一春彦先生が「日本人と日本語」という演題で話されました。日本人の考え方の独自性を外国生活の中から客観的に洞察され、その話術は参加者を魅了しました。

平成二年度第一回会合(六月)に於いて、この会合をもっと気楽に出席できる会にしたいという希望がありましたので、出席可能な時に会合に出て戴ければよいという事にしました。

又、各保育園では、保育の確保が難しくなっているので、保育養成校を招いて、懇談会等もしてみたいとの要望が出されました。この要望は他の出席者からも支持されました。

そこで、第三回会合では、横浜女子短期大学助教の船田松代先生に『就職戦線に見る現代大学生気質』と云うテーマで講演して戴きました。

講演内容の骨子は、一、現代の学生の意識 二、日常の挨拶等の基本的マナーの欠如 三、無気力の傾向 四、就職に対する意識 五、嫌がる仕事(三K) 六、受験生の変化 七、幼稚園の様子

八、求人の様子等について、自校の様子と県内外の短大の様子をおりまぜて、お話をして戴きました。現代の学生が指示待ち型人間なので職員研修等を通して、積極型人間になってもらわなくては困ってしまうと云う事でした。

どのような違いが出るのか興味がありますので、他の養成校の先生にも、同一内容のテーマで講演をして戴いたらと考えています。先駆的な仕事をしていると云う事で高評価を得ている保育園が多々ありますが、文章から受ける印象と実際に施設見学をしてみてもける印象との格差を埋め、又、そのノウハウも吸収していけたらと思っています。

その中から、今、直ちに出来ることを学びとり、自分の保育園の存在する地域特性を考慮して実施できるものは何かを会員一人一人が考えて戴きたいと思います。保護者が保育園を選ぶ時代に魅力のある保育園とは、どんな保育園を云うのだろうか。各保育園が有する固有の問題、及び、地域特

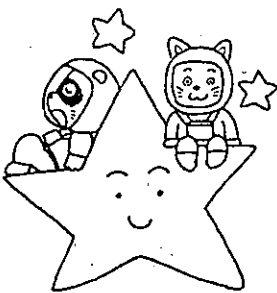
西暦二〇〇〇年代の 保育所を考える

性を除くと、一、その保育園の外観から受ける印象 二、交通の便が良い 三、保育内容 四、保育者(保育)の人間性 五、その他等でしょう。

保護者が保育園を選ぶときは、一と二で選ぶ傾向が強いと思われるが、皆さんはどのようにお考えでしょうか。

又、職員には魅力のある職場であっても、保護者には魅力のない保育園と云うことも多々あると思います。全ての人を満足させることは至難のわざだと思いますので、少なくとも、大多数の人を満足させられる事を目標にする必要があると思います。

今後の活動目標としては、毎年一、ないし、二施設の施設見学及び、養成校等との意見交換、研修会等の会合で勉強をしながら、二千年代の保育とはどのような事を追求していけばよいのかのシミュレーションをしたいと考えています。このシミュレーションは、保育園機能の強化シミュレーションかもしれません。



海外研修に参加して

中原保育園 原 千漣

平成二年度の海外研修は、5月29日～6月9日迄12日間の日程でニューヨーク、ボストン、ワシントン、ナイアガラ、サンフランシスコを参加者23名で視察しました。どの

街も各州それぞれの特色が色濃くて驚くばかりでした。ハイテクあり、歴史あり、貧富あり、明暗ありと実に多種多様で、現代社会に於けるありとあらゆるものを含んだ大国を目のあたりにしました。治安の悪さを聞かされたニューヨークでは、ハンドバッグを首から肩にかけて腕を通し小脇にかかえて園児ながら蟻の行列のようにして歩いたのを思い出します。ボストンは、川あり森あり石畳あり、昔ながらのレンガ造りの建物と近代的な建物とが調和



して、落ちついた文化的な香のする街。初めて訪れていても京都に似た雰囲気はあった気分でした。ナイアガラ瀑布でその前に立った時、人間には到底かなわぬ大自然の雄大さと溢れ出るエネルギーを体全体で感じました。そして日頃の自分のせかせかせした気持ちや悩みなどは、蚊にさされた程の些細なことのように思えてくるのでした。

事前研修でアメリカ歴史の豆知識を得、県知事さんからは「現地の美味しいものを沢山食べて、飲んで、美味しい空気を吸って、アメリカを自分の目で見ていらっしやい」と励まされた一行は、正直に大いに食べ、飲み、そして多くのものを見ました。これらを中心の栄養にし明日への糧にしたいと思います。海外研修参加の機会を与えて頂き有難うございました。

本年四月、ほとんどの地域で委員の任期満了期を迎え、再任・新入りの任入り交じり賑やかな初会合となった。会長ほか役員選任と委員の各専門部・委員会への所属が決まり、また専門部員も加わっての強力な体制が整った。

我が総務部は、少数部員ながらフル操業で事務局共ども専門部・委員会の活動をバックアップしていきたい。

昭和六十二年四月に地方の自主性・自律性の強化を図るとして、

各部スタートする

総務部

部長 富田 英雄

管全般にわたってのシビルミニマムともいふべき基準を打ち立て、関係機関との協力により神奈川の保育（行政）の底上げを押し進めていきたい。

また、最近の就職戦線では、学生の保育所離れの事態も生じており、有用保母登録制度の充実のほかに、調査研究部と連携して、人材確保のための諸方策を検討し始めている。

さらに、出生率が史上最低に落ち込むという憂慮すべき状況下で、未来に夢を抱ける人々を少しでも増やせるよう、家庭と子育て支援のため、保育所の機能強化もめざしていく。

少子化対策を誰しもが口にし、保育所にとって追い風が吹く今、真の児童福祉が推進できるよう会員の皆様の英知と御協力をお願い申し上げます。

保育所入所措置が市町村の団体委任事務とされ、早や三年余りが経過した。しかし、そうした流れにあって、本会の事業計画が示す通り、県所管内での統一的保育行政の実現即ち公私立全保育所の運

研修部

部長 都築 融光

部長の私を始め新しいスタッフと共にスタートした研修部ではありますが事業計画は昨年とあまり変わりはありません。しかしながら一つ一つの研修内容は十分に検討を加え充実をはかりたいと考えております。今、世の中の目覚しい経済発展の中で子供達を取り巻く環境も目まぐるしく変化しております。戦争を一つの契機として戦後の貧しさから幾多の苦難を克服して作りあげた今日の豊かな経済社会、その蔭で私達が育て行く子どもは一見健康そうに見えますが、心身の虚弱は日増しに広がっているのも事実であります。私達保育者はこの様な子ども達に豊かな感性を与えるために、自らも感性豊かな人間となる事が寛容であります。そのためには、保育者の資質の向上を図ることが重要であ

あり、研修もその点を充分に配慮し内容も保育事業大会、保育事業計画の趣旨に基づき、乳幼児をかかえる地域と家庭のために、施設はどうあるべきか「地域育児センター事業」を通して考えてみたい。十一月に予定されて居る主任保母研修は、主任保母を施設と地域・施設と家庭のパイプ役として考え、そこに視点を当てた内容を検討してみたい。一月に予定の調理員研修は例年参加者が多く、その理由の一つはお互の経験を通した情報交換が実をあげて居るので、その点を更に充実させたい。園長研修は例年の様に優良施設の見学を中心に保育ニーズの多様化に対応する情報交換の場(懇親会)を持ち園長の資質の向上と視野の拡大を図りたい。二十一世紀の保育所を考える会は次代を担う若い先生達の勉強会であり時代を越えた所に視点を当て独自の研究体制を取っておりますが若い英知を沢山必要としております若い先生方の参加

をお待ちしております。以上今年度研修計画を記しましたが、いくら立派なテーマや内容を考えてもそれを「聴く耳」「見る目」「語る口」がなければ絵に描いた餅です。各研修会に大勢の参加をお願いいたします。

予算対策部

部長 都築 融光

予算対策部も新しいスタッフによりスタート致しました。この部会は保育政策充実のため国、県のそれぞれのレベルにおいて予算対策活動を展開する事が仕事であります。本年度もすでに保育所制度の充実に関する八項目を衆参両院議長宛請願する事になりました。

請 願 事 項

- 一、保育制度の充実強化
- 二、措置費の改善
 - ― 一般生活費、人件費、管理費の増額―
- 三、地域保育センター活動事業の

充実

四、特別保育対策の充実

― 乳児保育、延長保育、障害児保育、夜間保育―

五、事務職員の常勤化

六、保育所職員の人材確保対策

七、保育料の軽減

八、社会福祉施設整備制度の改善
又本年度は特に保育需要に对应るべく各事業の補助金につきましても県レベルの請願を行いたいと考えております。しかしながらこれらの請願は組織の拡大を図りながら行われる事でもあり多大な費用を要します。協力金のカンパにつきましては特段のご協力をお願い申し上げます。今年度の協力金の目標額は昨年と同様三千万円ですが皆さんの意識を五千万円にまで高めて頂きたい。特に保護者に対して意識の高揚を図るため各園、保護者会への働きかけをお願い申し上げます。

調査研究部

部長 渡辺 健司

一般企業が急成長する中で、今年は幼稚園でも人材確保が難しくなっているのが現状です。

一方給与面や週休二日制などと合わせ、保育をどのように確保していけばよいのか、今、保育所がかかえる一番深刻な課題であると考えております。そこで調査研究部はここに焦点を合わせ、今年は県内の主な養成校の協力を得て学生の意識調査をすることに致しました。調査の目的は『学生の保育所に対する関心度』であります。4年制の学生を含め約四千人を対象に、9月中に調査を実施し、11月頃に結果を各保育所へ報告できるように準備しております。

今年には企業の青田刈りが例年より早く始められている関係で、学校での企業情報は豊富にあるようです。我々保育所側としては、こ

れ等企業に合わせることは出来な

いにしても、求人案内をする際に学校側の提示する求人票は、学生が知る最低の情報であると考えます。一方で保育所の情報が一番不足していると言われます。しっかりとした情報を流せることは、充実した保育所として結びつけることができるでありましょう。

求人票は、学校内ではオープンですので比較の対象になります。特に給与面、週休の問題等は、行政側とも連携を密にし、少なくとも各市町単位で歩調を合わせるべきでありましょう。

時代が変われば保育所の体質改善をする必要があります。学生が今、何を考え、保育所に何を求めているのか、調査研究部としてもその結果を期待するところであり

公立保育所

専門委員会

委員長 河崎 和子

保育会は私立保育園長と公立保育園長とにより構成されているが、公立施設長の場合定期的な異動があり、特に男性園長の場合は、保育園とは全く異なる部所への配属がほとんどである。そのためもあり会の責任あるポストでの任務を全うすることは不可能に近く、役員になっても一時的な任務という意識があり、他人任せになり勝ちな傾向にあります。そこで公立の園長が保育会に対し問題意識を持って参加し確かな手応えを感じ、結果として公立保育園全体の向上に寄与して行くことが出来ることを目標に活動方針を決めました。幸い今期は副委員長野田重徳(鎌倉)先生という力強い同伴者を得、又他のメンバーの先生達も大変意欲的で、当初の不安も遠のき希望を持ってスタートすることが出来



ました。今後公立保育園長として、保育会活動が十分出来るようになるために、例えば役員は大変であるけれど、一年交替でなく少くとも2年、理想的にはもう少し長く続けられるようにするか、保育会役員の公立園の数を一定数に保って行くといったような具体的な課題が数多くあります。そこでまず、各園長の置かれている状態や各市の状況を具体的に調査し部会として県内の客観的条件を把握することになりました。こうして第一回目に委員の紹介、役員の選出名簿作成、今後の具体的な活動内容などを決め、七月の二回目には、各市の状況を項目毎に記入しその一覧表を作成、現在進行中です。その中より問題点を拾い上げ、それに向けての改革や改善策を検討して行きたいと思えます。そして公立部会の活動内容を記録として残し、役員が交替しても継続出来るようにして行きたいと思えます。

広報部

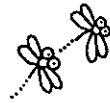
部長 岩沢 貞吉

平成二年度保育会役員改選により、図らずも私ごとき者が広報の大役に指名され、お断わりする勇気もないままにお引き受けする結果となつてしまいました。本来ならば意欲を表わし応えるべき名譽ですが、非力の為戸惑うことばかりです。ただ、幸いにも部のメンバーには、以前より広報に関わつてこられた奥村、登原、藤田、河崎のベテラン先生方がおられ、また新しい部員になられた先生方も経験豊かで熱心な方ばかりですので、本年度広報部の計画は支障なく実施できることと思っております。

流動的な社会情勢の中で、児童福祉に関わる正確な情報や各地域の細かい様子など、様々な視点でもってお伝えできるよう、メンバー一同頑張る所存ですので、会員諸先生方にも特段のご指導、ご協力のほど、お願い申し上げます。

広報部員

紹介



●各保育園では秋の運動会・野外活動等で一層多忙の度に加わることでしよう。地域育児センター事業実施園ではその分の担当と併せて、よい広報を念願。 藤田勝義

●今迄読み流していた広報。今では出来るのが楽しみ。先輩の指導を得て、記事を書いたり編集したりと物を創り出す喜びを堪能させて戴きました。 河崎和子

●広報部の仲間に入りまして、今まで「保育かながわ」を、見せて頂くだけでしたが、編集や校正の大変さを、はじめて知り、いろいろ勉強させて頂きます。杉崎モト

●小田原市の保育会は任期三年となり県保育会と足並みを揃えることができます。役員として、編集部もやりぬくの、汗だくです。よろしくお願いします。池田ツル子

●ひとは人、自分は自分だと回りとかかわり避ける傾向にある現代、「保育かながわ」のお手伝いができ、正確な情報を伝えるよう頑張りたい。 森フミ子

●今回広報委員のお役目を頂戴し緊張しております。たのしい「保育かながわ」が出来ることを念じています。皆様の御協力をお願い申し上げます。 本良ミズ

●保育指針の改訂、老人福祉の充実など福祉の現場は大きく動いています。広報活動の大切さを感じます。園長先生方の下で勉強させていただきます。 藤本信江

●広報部二年生になりました。昨年は「関プロ」がメインでしたが、今年は気分を一新して読んで楽しい・読まれる広報をめざして行きたいと思えます。 奥村和昭

●新しい事に挑戦する事は勇気が必要だ。馴れるとゆとりが出る。それが過ぎると色あせるような気がする。そんな委員にならぬように常に努力していきたい。登原由子

◎今後の事業計画

主任保母研修会

十一月上旬(予定)

保母の日前夜祭

十一月三十日(予定)

▽おめでとつございます

平成二年春に本会関係者で大臣表彰以上の榮譽を受けた方々

勲六等単光旭日章

玉成保育園々長 廣田正明様

藍綬褒章

やなせ保育園理事長 柳瀬コウ様

▽ご冥福をお祈りいたします。

前たちばな保育園園長 本良定昌様

平成二年八月二十七日逝去

前和順保育園園長 渡部将賢様

平成二年九月七日逝去